



真庭商工会報

真庭商工会は、
羊のように広い視野をもって
皆様をサポートしていきます。



イル リコッター口

『IL RICOTTARO』

イル リコッター口はチーズ農家カフェです。本場イタリアで学び、自家で飼育している羊やヤギから採れた新鮮な乳で製造したリコッタチーズを提供しています。

お食事は全てアラカルト(一品料理)で、メニュー数は少ないですが、自然栽培や無農薬野菜を使ったメニューで毎週、時には日替わりで、心を込めて一つ一つ手作りで提供しています。

季節により葉物のできない時は、サラダ等のメニューがない場合がありますが、代わりに葉物以外の旬のお野菜が主役の前菜などを提供しています。

※冬期(12月~2月)は休業します。

住所：岡山県真庭市蒜山中福田960-31
TEL/FAX：0867-44-1255
Email：ilricottaro@gmail.com
ブログ：<http://ricottaro.exblog.jp/>
開店時間等はこちら↑をご確認ください



目次

次

会長年頭挨拶 P2	商工会を活用しよう P6. 7 ・工業部会・商業部会の活動特集
真庭市長・新庄村長 新年の挨拶 P3	ひつじ年大集合 P8. 9
支援の広場 P4. 5 ・小規模事業者持続化補助金活用事例 ・景況調査報告 ・確定申告説明会・確定申告手続き案内 ・消費税改正	青年部コーナー P10
	女性部コーナー P11
	小規模企業共済告知 他 P12

年頭挨拶

行政とともに横の連携を 保ちながら効果的な活動を！



真庭商工会
会長 福島 正明

新年あけましておめでとう
ございます。皆様方におかれ
ましては輝かしい新年をご家
族おそろいでお迎えのことと
お喜び申し上げます。

昨年はアベノミクスの追い
風に乗ったかと思う間もなく
4月の消費税増税のあおりを
受け地域経済は低迷した感が
ございました。

予定されていた第二次の消
費税増税が先送りされたのも
領けるところであります。

一方一昨年全国の商工会か
らも強く政府に要望していま
した小規模企業振興基本法が
昨年6月制定されました。

これは中小企業の90%を占
める我々小規模企業のための
法律であり商工会が今実行っ
てきた会員企業の経営改善、



経営革新、経営の持続、創業
支援、事業承継をさらに後押
しする法律であります。

商工会は会員の皆様のみな
らず会員以外の方のご要望が
あれば経営のお手伝いをさせ
ていただきます。

地域の活性化は地場産業が
元気でなくてはなりません。

真庭市とともに横の連携を
保ちながら効果的な活動を進
めたいと思います。
近隣諸外国のマナー無視の

外交、経済活動をマスコミ報
道で見るとつけ菌がゆい思い
をすることもたびたびであり
ますが、日本の本来の資本主
義とは洪沢栄一の著書「論語
と算盤」にもございますが道
徳とビジネスを基盤としてい
ます。たびたびの災害の中で
世界で取り上げられる「民
度」の高さもその裏付けだと
思います。

厳しい経済環境ではありま
すがお客様に末永くご愛顧頂
ける商いとは正直で勤勉な仕
事の積み重ねではないでしょ
うか。

加えて商工会の情報及び施
策の活用をされまして今年を
よりよい年とされますことを
祈念いたしまして新年のご挨拶
といたします。

真庭市産業サポートセンター報告

「商品力向上セミナー」の開催



▲地域力の発信について語る若林社長

平成26年9月5日(金)
に真庭市役所本庁舎におい
て(株)三好野本店 代表取締役
社長 若林昭吾氏、常務
執行役員 安東幸雄氏、新
規事業室長 富吉秀昭氏の
3名を招いて「商品力向上
セミナー」を開催しました。
真庭市内の中小企業者を中
心に関係者を含む約50名が
参加。

「売れる商品づくりの ヒントを学ぶ」



▲挨拶する福島センター長

講演では、若林氏より
三好野本店の歴史から、
地域力の発信について講
演頂き、安東氏からは、

高速度道路蒜山SA上り線の店
長時代に経験された商品開発
の成功例や、売れる商品に育
てるための方法及び商品力向
上のヒントを講演頂きました。
講演後には、富吉氏の司会に
より質疑応答が行われ、受講
者からは、めったに聞けない
方の講演で、商品力向上のヒ
ントになったとの声がありま
した。

新会員さん紹介

(敬称略)

(平成26年5月3日)

平成26年10月10日

◆北房地区

里山アグリ(株)

◆落合地区

FONTEC R&D(株)

カワサキファーム

Locconica

小川建築

お好み焼・カフェ 大倉

◆久世地区

中山建築

セブンイレブン蒜山上福田店

◆勝山地区

Ploot

Sacco

滝の茶や

かびばらこーひー
(株)フォーシーズン

◆湯原地区

美甘 御式

(同)マーパラ

◆蒜山地区

やまな食堂

ゲストハウス中和の隠れ家

◆新庄地区

Forest

滝田林業

商工会は頑張っているあなたを応援します！
金融・税務・労働など日常の相談はもちろん、
専門家の派遣も行います。



新年のご挨拶



真庭市長
太田 昇

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は市政各般にわたり深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

市長に就任して一年半以上経過しましたが、その間、先見性を持って必要な手を打つことを念頭に、機敏な市政運営に努力してまいりました。おかげさまで、商工会をはじめとした関係団体や多くの市民の皆様のご理解、ご支援を賜り、「元気で



新庄村長
小倉博俊

新年あけましておめでとうございます。

真庭商工会の皆様には、希望に満ちたすがすがしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃は村政運営に對しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年8月に行われました村長選挙におきましては、多くの皆様のご支持を頂き、8年ぶりに村長として、5期目の村政の舵取りを任せて頂きました。課題は山積しておりますが、皆様方からお寄せいただいたご

希望の湧く真庭」を目指した取組は順調に推移してきており、全国に向けた真庭の発信力はかなり大きなものになりつつあると思っております。

特に「里山資本主義」の効果もあって、「バイオマス産業都市」としての真庭の知名度は確実に高まっており、霞が関では、「岡山県といえば真庭」とも言われているようです。

また、全国で33件、岡山県内では唯一となる地域活性化モデルケースの一つに選定されたこともあり、関係大臣や政務官をはじめ、関係省庁や他の地方自治体、議会等から多くの方々が続々と視察に訪れるなど、真庭に対する注目の高さを実感しております。

さらに、今年4月にはいよいよバイオマス発電所が稼働します。地域に存在する豊富な森林資源を、地域を挙げた体制により、燃料にしてエネルギーを創っていく

この取組は、バイオマス産業都市のシンボリックな事業として、さらなる真庭の魅力発信につながっていくものと期待しているところです。

さて、真庭市は合併から10年という節目を迎え、今年は新たな段階へと踏み出す年であります。昨年から市民の皆さんと協議を進めながら策定を進めてきた新たな総合計画では、真庭市民の暮らしに焦点を当てた「真庭ライフスタイル」を提案していますが、その基盤には、広域で多様な真庭の地域資源を最大限に生かした「しごと」の存在が前提であり、それを実現するためには、商工業をはじめとする地域産業の活性化や、新たな創業・起業の促進が不可欠であります。

真庭市産業サポートセンターにつきましても、昨年4月から、事務局を事業者により身近な真庭商工会へ移管し、支援機能を強化しているところですが、引き続き、

木、6次化、太陽光、IT産業、有機農業などの振興と強化、また地域資源の発掘と活用などに今こそ英知を結集してまいります。

また老人介護福祉、医療の充実、強化等の取り組みは村民誰もが心配している問題です。村民の誰もが村内で安心して暮らせる全国モデル施設を検討してみたいと考えています。これらの諸問題の打開と解決のため、私は全力投球しますし、具体的な方策については村民を始め関係者と良く協議しながらできることから実行プランを発表すると共に、新庄丸の船長としてのリーダーシップを発揮していきます。

最後に、新庄村は喫緊の課題を抱えています。これらについては、まずは、情報をオープンにして、早急に住民目線で事業効果や必要性を検証し、村民と十分に協議を

地域資源活用や農商工連携などの新事業展開を支援するとともに、市・商工会及び金融機関等の関係機関と連携し、創業者に対する幅広いサポートを進めてまいります。

政府が「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、地方創生に向けて力を注ぐこの時機に、真庭でこそ地方創生が実現できるという気概をもって、農山村地域を盛り上げ、都市部中心の日本を変えていくという思いのもと、より一層商工会との連携を密にし、地域経済の活性化に向け、引き続き諸施策に取り組みまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本市商工業の発展向上を担う真庭商工会のますますのご繁栄と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

重ねる中で解決していきたいと考えています。

いずれにいたしましても、先人達から引き継いできた栄光と歴史の「ゆりかごから墓場まで」の新庄村の明るい未来が築かれるよう共に語り合い、知恵を出し合い、夢を共有し合い「村民一家族」の桃源郷の福祉の村づくり目指して全力で挑戦してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。岡山県下では、一番小さな村ですが、小さいからこそできるスケールメリットを大いに生かして、日本一の合併していない自立の元気で輝ける村民協働の村を創生していけるよう力一杯全力を傾注して参ります。

結びにあたり、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつと致します。



支援の広場

小規模事業者持続化補助金活用者のご紹介

小規模事業者持続化補助金とは（平成25年度補正予算の受付は終了しています。）持続的な経営に向けた経営計画に基づく取り組みを支援するための制度で、小規模事業者が商工会等と一体となって行なう販路開拓（創意工夫による売り方やデザイン改変等）などの取り組みに要する経費の一部を補助するものです。

今回の応募で、真庭商工会では32事業者が承認され販売促進などの事業を行われています。

事業所名 成田食品

代表者名 成田邦朗

事業 新ブランドの開発及び店舗販売の実施

商品品質に対する顧客ニーズの高まりや、市場の動向変化を受けて、以前よりパッケージデザインを含めた新商品開発を計画していました。

昨年末に経営指導員より「小規模事業者持続化補助金」の説明があり、デザインから販促までを含めた全般的なプランを作成することになり、専門家の協力のもとに計画が無事承認をいただき、現在事業に着手している状況です。

当事業所では今回の新商品の開発により、新たに自主販路を開発して販路拡大をすることで、相乗的に認知度の向上も期待しています。



事業所名 ログベンション森の散歩

代表者名 川戸かほり

事業 団体客を対象としたプランの新設と販促ツールを活用した商圏の拡大

今回の補助金を活用し、団体や大人数で貸切るというスタイルと食材を持ち込みたいという自炊スタイルを希望する現在の顧客ニーズに適合したプランを新設し、宿泊客が気軽に利用できる専用キッチンスペースを新設します。

また、新たな体験メニューや宿泊プランを多くの方に知ってもらうため、お客様が手に取りやすく、わかりやすいパンフレットも平行して作成する予定です。



真庭商工会 景況調査 ー平成26年7~9月期ー

業況判断全業種2期連続の悪化

平成26年7~9月期の業況判断DIは、前期比10.0ポイント低下の▲38.0と、6期ぶりにマイナス30台となった。消費増税の反動減や天候不順、賃金の伸びが物価の上昇に追いついていないことなどから需要が減少し、業況感は悪化した。売上高、収益状況ともに悪化し、当地の景気は、減速が鮮明になっている。

経営上の問題点としては、「民間需要の停滞」が最も多く、需要不足が続いている。

●業況天気図

	全産業	製造業	建設業	卸小売業	サービス業
26/1~3	▲9.0	▲12.0	▲4.0	▲24.0	▲4.0
4~6	▲28.0	▲28.0	▲12.0	▲36.0	▲36.0
7~9	▲38.0	▲36.0	▲16.0	▲56.0	▲44.0
10~12	▲41.0	▲28.0	▲40.0	▲52.0	▲44.0

●業況判断DIの水準

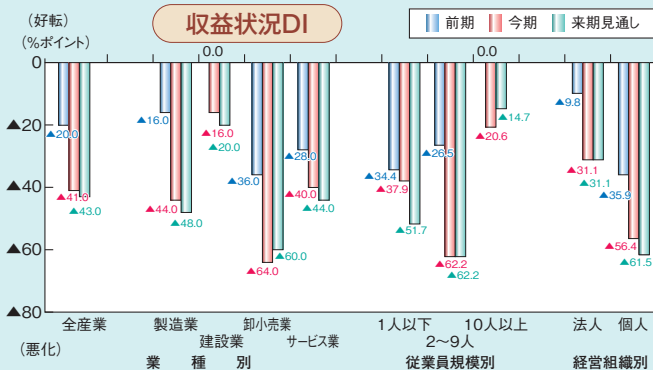
DI=(増加・上昇・好転等の回答割合)-(減少・低下・悪化等の回答割合)

天気	DI水準
晴	20以上
晴曇	0以上20未満
曇	▲20以上0未満
曇雨	▲40以上▲20未満
雨	▲60以上▲40未満
大雨	▲60未満

収益状況DI 2期連続の悪化

平成26年7~9月期の収益状況DIは、前期比21.0ポイント悪化の▲41.0となり、2期連続で悪化した。調査開始以降最大の悪化幅で、24年7~9月期(▲47.0)以来の水準となった。「やや悪化」、「悪化」と回答した企業の割合は5期ぶりに5割を超えた。収益状況は悪化している。業種別にみると、製造業は8期ぶりに、建設業は2期ぶりに、卸小売業、サービス業は2期ぶりにそれぞれ悪化した。とりわけ卸小売業は調査以降最悪の水準となった。建設業は2期ぶりにマイナスに転じた。建設業を除き、「やや悪化」「悪化」と回答した企業が過半数を超えた。従業員規模別にみると、1人以下と2~9人は2期連続、10人以上は3期連続でそれぞれ悪化した。10人以上は8期ぶりにマイナスとなった。2~9人は、35.7ポイントと大幅に落ち込んだ。経営組織別にみると、法人は3期連続、個人は2期連続でそれぞれ悪化した。

先行き平成26年10~12月期は2.0ポイント低下の▲43.0と悪化予測となっている。



DI=(増加・上昇・好転等の回答割合)-(減少・低下・悪化等の回答割合)

平成26年所得税決算申告に向けての 税務講習会

～確定申告の注意点と身近な節税のポイント～

今年も、所得税等の確定申告時期が近付き、帳簿整理等の準備を進められていることと思います。

今回の講習会は、事業決算及び申告における注意点や間違いやすいところの説明、諸帳簿の整理方法についてと、身近な節税ポイントについての説明をおこないます。

毎年と同じような決算申告も、毎年税制改正が行われ少しずつ変わってきています。特に消費税申告に関しては昨年4月の8%への改正により変更になる場合もあります。正確な決算・確定申告を行うためにも是非この機会に受講下さいませようご案内申し上げます。

開催日程 平成27年1月26日(月曜日) 13:30～15:30

開催場所 真庭商工会 本部2階研修室
(真庭市鍋屋6 TEL0867-42-4325)

講師 税理士 須田 秀之 氏

定員 25名(定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

受講料 無料

申込方法 事業所名・参加者名・連絡先を真庭商工会宛に
FAX、TEL又はHPからお申込下さい。

申込先 FAX 0867-42-4337
HP (<http://www.maniwasci.or.jp/>)

問合せ先 真庭商工会 本部(真庭市鍋屋6 TEL 0867-42-4325)



確定申告手続きのご案内

平成26年分の確定申告手続きを次のとおり各支所で実施します。ご都合の悪い方、初めて申告をされる方は、この日程以外にも個別に相談を承りますので、ご連絡ください。

都合により日程が変更となる場合もあります。

●北房支所(3日間)	2月24日(火)	3月3日(火)	11日(水)
●落合支所(3日間)	2月26日(木)	3月5日(木)	11日(水)
●久世地区(3日間)	2月24日(火)	3月5日(木)	10日(火)
●勝山支所(3日間)	2月19日(木)	27日(金)	3月9日(月)
●美甘支所(1日間)	3月4日(水)		
●湯原支所(3日間)	2月25日(水)	3月4日(水)	10日(火)
●蒜山支所(3日間)	2月24日(火)	3月5日(木)	11日(水)
●新庄支所(2日間)	2月25日(水)	3月10日(火)	

持参書類等

関係諸帳簿及び決算書綴り
26年分決算書及び申告書用紙
(昨年度、電子申告された方は税務署から用紙が郵送されませんのでご注意ください。)

生命保険料・損害(火災・地震)保険料控除証明書
各種(給与・年金・報酬)源泉徴収票
国民年金保険料控除証明書
(日本年金機構から郵送済み)
印鑑(認印)

消費税及び地方消費税率が、平成26年4月1日より 8.0%(旧税率5.0%)となりました。

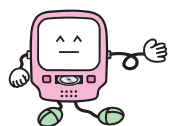
(注)8.0%の税率は、経過措置が適用されるもの(*)を除き、平成26年4月1日以後に行われる資産の譲渡等について適用されます。

* 経過措置が適用されるものについては、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) をご参照ください。

平成26年1月から 記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されました。

平成26年1月から個人で事業(農業を含む)や不動産貸付等を行う全ての方について、
①売上などの金額、仕入れやその他の必要経費に関する事項を記載した帳簿の作成や保存と、
②取引で作成・受け取った請求書や領収書などの書類の保存が必要となりました。

【所法231の2】



- ※1 所得税申告の必要がない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象です。
- ※2 ①の法定帳簿は7年間、①以外の任意帳簿や②の書類は5年間の保存が必要です。

詳しくは国税庁ホームページをご覧ください。 **国税庁** で **検索**

*「個人で事業を行っている方の帳簿の記載・記録等の保存について」をご覧ください。

活用しよう!!

部を含む)・工業部会があり、主に商工業
決を目的に活動しています。
します。

工業・商業
部会活動編



工業部会

真庭市内企業訪問と情報交換会の開催

地元企業の「ものづくりの現場」を見学

平成26年9月30日(火)に、企業訪問並びに真庭市内の高等学校進路指導担当教諭との情報交換会を実施しました。

本会より正副会長、正副部会長以下役員、工業部会員(事務局含む)及び真庭市職員、真庭市内高等学校進路指導担当教諭の方々を含む29名で、株式会社デンソー勝山と銘建工業株式会社を見学させて頂き、銘建工業株式会社の会議室をお借りして、情報交換会を行いました。



▲銘建工業(株)会議室において

●企業訪問
株式会社デンソー勝山
代表取締役 平昌 斉氏と総務部長 岡田光央氏のお二方より事業概要や製品紹介、品質管理等の説明をお聞きした後、先進の樹脂成形技術と設備が稼働している工場内部をご案内頂きました。

●情報交換会
各校の先生方より、今年度の就職状況や就職後のフォロー等につ

銘建工業株式会社

総務部長 安東真吾氏と総務課 天沼千亜希氏のお二方に、集材、製材、バイオマス、CLT等の「ものづくりの現場」をご案内して頂きました。

両社ともに真庭を代表する「ものづくり」に携わり、地元雇用を担い、地域貢献を果たしている企業であり、こうした企業の最先端の技術・設備が稼働している「ものづくりの現場」を見学させて頂き、進路指導担当の先生からは、職務に於いて机上の企業情報だけでなく実際の現場を見学し事業内容を知る事が出来て良かった等の感想もあり、有意義な企業訪問となりました。

ご協力頂いた企業関係者皆様に感謝申し上げます。

●情報交換会
各校の先生方より、今年度の就職状況や就職後のフォロー等につ

県外視察研修

中国地域ニュービジネス大賞 受賞企業を訪問

”期待を超える感動を!”

平成26年11月27日(木)に、工業部会・役員県外視察研修を実施しました。会長、部会長以下役員、工業部会員(事務局含む)及び真庭市職員の方を含む21名で、島根県松江市の島根電工株式会社本社に伺いました。

島根電工株式会社は、平成26年度中国地域ニュービジネス大賞を受賞した企業です。

まずは代表取締役社長 荒木恭司氏自らのご案内により、平成26年10月に竣工されたばかりの本社内を案内頂きました。新社屋は複数の会議室が設けられてあり、随所にある社員用の福利厚生スペースがとても印象的でした。
続いて荒木社長より「期待を超



▲島根電工(株)本社前にて

える感動を!”と題してお話を頂きました。御社は創業以来、電気・管・電気通信工事など公共工事の依存度が高かった会社でしたが、荒木社長は公共工事の減少をいち早く見通し、平成9年から一般エンドユーザー向けの少



▲株式会社 デンソー勝山にて

額工事を素早く提案し、安定経営を実現。昨年より「住まいのお助け隊」という新たなビジネスモデルとして全国展開しており、現在もそのノウハウは社員教育も出ると全国から問い合わせが殺到。社員教育を重視し、社員を経営資源と位置づけた経営方針により業績アップに繋がっていったお話を聞けた事は、参加者にとって非常に有意義な研修となりました。
企業訪問の後は、出雲大社神門通りを見学し帰路につきました。



商工会を

真庭商工会には、商業部会（観光部会）の地域課題の情報共有や問題解決の場として、今年度は平成26年度の活動をご紹介します。

商業部会

視察研修会の実施

商店街の未来へ向けた 事業プランを研修

平成26年9月12日(金)、商業部会視察研修を実施しました。研修には、会長、部長以下役員、商業部会員(事務局を含む)19名で香川県高松市丸亀商店街、岡山市の駅前開発、表町商店街を視察しました。

●丸亀商店街

丸亀商店街は「人が住み、人が集うまち」を目指し商店街組合が約20年をかけて取り生まれ、暮らしの様々なシーンで楽しめる商店街として、商店街を一つのショッピングセンターとするタウンマネージメント機能をはたす役割を担っており、多様な多様なお店が並んでおり、魅力的な雰囲気をつくりだしていました。



▲タウンマネジメント機能をはたす丸亀商店街

●岡山駅前・表町商店街
岡山市では、平成26年12月に駅



▲事業プランを説明する三村教授

前に大型商業施設がオープンし街中の人の動きが大きく変わる事が予測されています。駅前視察からは、岡山大学三村聡教授も同行していただき、説明を交えて視察をおこない、表町視察には、岡山市中之町街づくり株式会社代表片山進平氏より表町商店街を歩きなが

セミナー・全体会議

商業部会が主体となり、接遇を含め「人生を変える幸せの法則」について、ビジネスマナーのエキスパートである宗定姫愛子氏を講師に迎え、セミナーを開催し19名が受講しました。

ポイントとして・幸せは感謝から始まる・心の基線を下げる・希望は目標から生まれる・すべての源は自分にある・人に与えたものが自分に跳ね返ってくる・相手の問題解決のお手伝いをする・見返りを求めないなど『自分自身を磨くこと』の大切さについて講演をされました。受講者は、普段当たり前と思っていることの必要性を再認識できました。

研修終了後、部会全体会議を開催し真庭商工会商業部会の事業実施についての計画策定を行いました。



▲真剣に受講する受講者

ら、見学した後、今後の商店街事業プランとして100年先の未来へ向けた事業プランについて説明を受けました。その後三村教授を交えて意見交換会を実施しました。

●研修を終えて

丸亀商店街は、平日の昼間であったが、人通りも多く、清潔感のある街並みが印象的でした。表町では、久しぶりに訪れた商

店街を、当時の記憶を思い出しながら、視察をされる一面もあったが、問近に迫る大型商業施設のオープンに対して、危機感を感じながら、商店街の生き残りを懸けた事業プランの説明と、意見交換会をおこない、参加者からは有意義な研修であったという声が多くあり、充実した内容で実施する事ができました。

地酒で乾杯 条例制定一周年

地酒で乾杯条例が制定され一年が経過し、各種会合で実践していただいています。地産産品活用の為に、もよろしくお願ひいたします。

